

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トレスボ長岡京		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 17日		2025年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 17日		2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	乙訓地域ではなかなかない個別対応の療育	お子様の特性をよく観察し理解した上で、応用行動分析を基礎とした考え方で支援の方向性を決めている	次年度は年長者が多くなる為、就学に向けてより意識した活動内容を提示したい
2	楽しく通ってくれる環境づくり、活動内容	お子様の興味関心を把握したうえで、使用するおもちゃや製作を決定している。「やってみたい」「楽しい」「楽しい気持ちを大人と共有したい」など段階を踏んで心の成長を支えている	支援が固定化しないよう、スタッフ間で現在行われている情報共有をさらに続けていき活動内容をより良いものにする
3	包括的な支援のための園連携	お通いの園と連携し、訪問し合うなどし、情報共有している。トレスボの個別、園の集団と、違う姿をお互いの担当が見て、よりよい支援のための参考としている。	今年度は数か所の園連携だったがもっと連携先を増やせればと考えている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	次年度、利用人数がほぼ定員に達したため新規を受け入れづらい曜日がある	多機能型なので放デイと一体であるため定員数が限られてくる	将来的に地域ニーズに合わせて施設を増やしていくことも検討課題の一つとらえている
2	次年度、療育支援システムとして新しいアプリを導入する。まだ使い方など不明点があり試行錯誤しながらとなる。	旧システムから新システムへの移行の際に使用感の違いが大きく、効率的な使い方の模索をしている	マニュアルとヘルプを利用しながら進めていく
3	当施設の療育方法上、集団の姿を施設では見られない	完全個別であるため	現状集団の姿は園連携で見られるが、将来的には小集団クラス創設など検討課題の一つとらえている